

令和6年度第2回中北地域保健医療推進員会議事録

1 日 時 令和7年3月6日(木) 午後7時00分～午後9時00分

2 場 所 北巨摩合同庁舎1階 101会議室

3 出席者 委員21名(代理出席者8名)
中北保健福祉事務所長 副所長 ほか職員
欠席者 4名

4 会議次第

- (1) 開 会
- (2) 中北保健福祉事務所長あいさつ
- (3) 議 事
- (4) その他
- (5) 閉 会

5 会議に付した事案の件名

- (1) 第8次中北圏域アクションプラン単年度評価について 資料1
- (2) 第8次中北圏域アクションプランについて 資料2
- (3) その他 令和7年度の委員について 資料3

6 議事の概況

議事(1)「第8次中北圏域アクションプラン単年度評価について」

〈中北保健所健康支援課長〉

・重点課題①「糖尿病を中心とした生活習慣病の発症予防・重症化予防対策の強化」

働き盛り世代、特に保険者や自治体等の取り組みが届きにくい中小規模事業所をメインターゲットに、糖尿病を中心とした健康づくりに取り組んできた。正しい知識の普及啓発については、中小企業等に職員が出向き、出前講座を実施した。12回という目標は達成、ストレス関連の依頼も多く、引き続きの生活習慣病予防に向けた講座の活用の啓発が必要。ライフコースアプローチという観点から早期からの正しい知識の習得や行動化に向け、来年度は学校等と連携し、若年層への普及啓発についても取り組みを進めたい。

生活習慣病の改善に取り組みやすい環境づくりとして、医療保険者、商工労働等の様々な分野の代表を委員とした、管内地域職域保健連携推進協議会や実務者によるワーキングを開催した。各団体が提供できる健康教育などのサービスを産業専門職のいない中小規模事業所を中心に配布した。4月から各団体の職員の派遣を行う予定。

従業員の健康管理を経営的に実践するという健康経営の考え方の振興に向け、商工会の事業主が集まる会議に参加し、出前講座の周知や健康経営の考え方について説明を行った。短期間で健診や保健指導の実施率を上げることは難しいが、来年度各団体のサービス資源の活用の周知や、キャッチフレーズを発信し、事業主に健康への関心を持っていただけるよう各部署と連携しながら対策を進めていく。

・重点課題⑥「在宅医療の推進」

今後ますます増大する医療ニーズに対応するため、在宅医療介護の多職種連携の推進に加え、継続課題となっている急変時対応など、24時間体制の在宅医療の提供体制づくりを進めるための取り組みを行った。2月に医療介護団体の代表者、市町村等と、中北地域在宅医療介護広域連携会議を開催。身近な地域で、医療連携に焦点を当てた意見交換を実施した。在宅支援診療所と、在宅医療に携わる先生にも参加していただき、診療の実情や地域内の連携、課題を共有させていただいた。課題の整理とともに顔の見える関係づくりの一助に繋がった。また、訪問看護支援センターと連携し、在宅医療多職種連携研修会をおこなった。来年度については、具体的な取り組みの方向性の検討を行いたい。在宅療養者の意思決定支援を支える取り組みとして、看護協会地区支部と連携し、看護職を対象としたACPについて説明を

行った。引き続き、定着に向けた取り組みをしていきたい。難病患者の療養支援として、特に医療依存度の高い患者の災害時の支援体制づくりに焦点を当てた取り組みを実施した。災害時の個別支援計画を作成し、伝達訓練や予防的支援を実施している、市町村が作成する個別避難計画の作成を支援するため、モデル市への伴走支援、防災担当部署も含めた管内での会議を5月に実施。難病対策地域協議会を開催し、関係部署との実効的な連携について検討する。災害時の他分野とのネットワークづくりをさらに進めていきたい。

〈中北保健所地域保健課長〉

・重点課題②「精神疾患の予防及び相談支援体制の推進」

精神保健に関する課題を抱える住民への間口を広げた相談体制、相談支援の充実を図る。精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築会議を開催。市町の取り組みや管内の課題の共有を行った。国立精神保健医療センターの講師を招き、国の動向や新たな施策等についての研修を行い、学びを深めた。出張メンタルヘルズ講座、市の自立支援協議会、研修会、市の自殺防止対策の事業の機会を通じながら、精神保健に関する正しい知識の普及の提供やライフステージに応じた心の健康づくり、普及啓発を行った。また、自殺の危険の高い人を早期に発見し、早期対応できる人材養成や相談体制の構築。

自殺防止取り組みでは、地域のセーフティネットの連絡会議を開催。自殺傾向が高くなってきている働く世代や若年層への自殺対策についての評価検証を実施。次年度も引き続き取り組みを強化していく。

思春期児童への関わり方の研修会を行い、顔の見える関係づくりの構築を図った。

地域で暮らす認知症の方や家族の困りごとの支援として、チームオレンジの推進事業、研修会を実施し、グループワークの中で地域の実情を踏まえたチームオレンジの支援、体整備の課題を検討した。会議等の開催について、目標達成には向かっているが、治療中断に対する対応の減少や死亡率の減少については、体制や取り組みを委員の皆さんと連携を図りながら推進し、減少に向けて取り組んでいきたい。

・重点課題③「救急医療体制の整備・充実」

初期救急医療体制の充実に向けた検討は、昨年5月11日に山梨大学に初期救急医療センターが開設された。前後における救急車の搬送状況や二次救急病院における救急車の受け入れについて調査。初期救急センターの実績の検証を行い、甲府、中巨摩地区と北巨摩地区それぞれにおいて、救急医療の検討会を開催した。受け入れ状況を経年比較出来るよう、調査を継続していく。

救急安心センターやまなし（#7119）の普及啓発では、県のホームページや市町の広報、地域住民の皆さんが集まるイベント等を通じながら、普及啓発を実施した。

診療所クリニックの先生方に#7119の適正利用の周知についても依頼をした。

・重点課題④「大規模災害時保健医療救護体制の整備・充実」

2月10日に情報伝達訓練を実施。課題等については、県の大規模災害時の医療救護マニュアルの改正に反映する。受援マニュアルに基づき、DHEATの定例の訓練EMISを使った情報伝達訓練をおこなった。

・重点課題⑤「新興感染症発生・まん延時における医療提供体制等の整備・充実」

県で感染症の予防計画、行動計画を策定している。

管内の新型インフルエンザ等対策会議を開催。保健所の取り組み、市町と情報共有を行った。次年度、新興感染症が発生したときの対応について検討をしていきたい。

平時からの体制づくり、保健所の機能が発揮できるように健康危機対処計画を策定し、実効性を確保するためのアクションカードの作成に取り組んでいる。

10月には医療機関と、1月には市町村と合同で新興感染症が発生したときの対応訓練を実施。次年度も訓練をしながら、新興感染症に対する訓練を実施していきたい。

意見・質疑・応答

〈甲府市〉

県の方針、また新型インフルエンザの行動計画に基づいて、整合性を取りながら、重点課題、目標達成の解決に向け今後の方向を確定していく。

議事(2) 第8次中北圏域アクションプランについて。

〈中北保健所地域保健課長〉

アクションプランを着実に推進していくため、保健所だけでなく委員の皆さん方と共同で一体的に取り組みを展開していくことを目指している。重点課題の6項目への取り組みについて、各所属や組織、団体について、今年度どのような取組を行って来たか資料2-1にまとめさせていただいた。重点課題に沿って、関係機関がどのような取り組みをしているか表を作成した。黒い実線が取り組んでいるとご回答いただいたところ点線の赤丸については、一緒に取り組んでいただきたいと考えている機関。

●各構成機関による取り組み

◎重点課題①「糖尿病を中心とした生活習慣病の発症予防・重症化予防対策の強化」

〈甲府市〉

生活習慣病に関する正しい知識の普及啓発を図るについては、出張保健室として地区担当保健師が地域に出向き、健康相談や正しい知識の情報提供や相談支援を実施した。適切な食生活、適度な運動、健康診断を始めとする生活習慣の改善に取り組みやすい環境作りをすすめるについては、医師会にご協力をいただき、集団健診の実施回数を1回増やした。昨年度からターゲットを絞った成人歯周疾患健診に力を入れて取り組んでいる。健康経営の推進の部分については、民間企業と連携して「健康セミナー」を開催し、企業に対し、リアル・オンラインでの実施に対し68社約千人の社員の方の参加があった。ご自身の健康づくりが後回しになりがちなき働き盛り世代をターゲットに社員どうし、またはご家族一緒に楽しめる内容とするとともに、身体を動かすきっかけづくりとして事業所対抗運動会を実施した。

〈昭和町〉

健康診断の結果におき、BMIのパターンを対象に個別相談を実施。糖尿病予防プログラムでは、受診勧奨を行っている。健康診断の結果報告会を同時に実施。保健指導を受けやすい環境を整えている。継続ケースが多いので、切れ目のない対応を地区担当保健師、成人担当とともに実施していきたい。

〈中巨摩地区歯科医師会〉

歯科は特に重点を置いているのは、歯周病と糖尿の重症化との関係が。山梨県と山梨県歯科医師会、サンスターと3者協定を結び、県単位の口腔衛生事業、支部単位の口腔衛生事業にも積極的に協力してもらっている。心強い後方支援になる。サンスターが独自のビッグデータを持っており、全国の情報がたくさんあるので、それを利用して数字の見える化ができる。今取り組みをしている。南アルプス市を例にとれば、11月23日に健康フェスタを行っている。歯科医師会が必ず参加し、歯周検診、相談を受け、歯周病と糖尿病の重症化予防は大きく関係がある。

〈中巨摩医師会〉

糖尿病、脂質異常症の講演会を実施。山梨大学医学部附属病院の土屋教授、ファミリークリニックの内藤先生に講演していただいた。

◎重点課題②「精神疾患の予防及び相談支援体制の推進」

〈南アルプス市〉

チラシにストレスチェック表を掲載。健康フェスタの際にパンフレットを配布、知識や相談先の周知をしている。日頃の活動からも、精神疾患にもアプローチさせていただいている。

〈北杜市〉

検討部会を実施。化学物質過敏症というものが多くある。

〈中巨摩医師会長〉

高齢化が進んでいる。一人暮らしや夫婦で認知症の方も結構いる。

診察の中で気づいたときには、家族がいれば家族、親戚がいれば親戚を頼りに、なんとか親しくしている方を探して声を掛けている。

地域包括支援センター等を紹介もしている。認知症以外でも、精神疾患じゃないかなと思うときには、すぐ動くようにしている。

診療科にかかわらず、その方がちょっと心配だなと思うときにはすぐに動けるような体制を作るようにしていかなければならない。最終的には精神科の先生にお世話になる。

〈住吉病院長〉

自殺予防、自殺を図る精神疾患の方もだが、障害者だけでなく精神保健に関する課題を考える住民へのいろいろなご案内を行っている。

新しい試みとして、動物介在療法を取り入れた。精神科病院といえばネガティブなイメージがあったり、敷居が高かったりする。セラピー犬肩書きはケースワーカーを導入した。学校であるとか、介護施設であるとか、一般家庭にセラピー犬が向かって交流をすることで、精神科病院は怖いばかりではない、親しみやすいイメージを持っていただける。だんだんと敷居が下がり、相談しやすくなるということで早期対応が可能になるのではと考えている。

当院では減薬にも取り組んでいる。オレンジカフェも、毎月第4土曜日に住吉病院等、法人の地域活動支援センターが主体になり、パレットというカフェで、患者さんに実費で100円払っていただき、話をしたり、いろんな職員に相談を聞いていただいたりという活動を実施している。

◎重点課題③「救急医療体制の整備・充実」

〈甲斐市〉

緊急安心センターやまなし（#7119）については市の広報誌、ホームページ、SNSによる発信を行い、地道に努力をして、市民への周知を行っている。

〈中央市〉

広報や回覧、いろいろな団体のところに行ったときに、#7119の普及啓発を行っている。

〈甲府市医師会〉

夜間初期救急が終わったが、夜間の電話相談体制を維持することになった。

問題になっているのは県民への、周知徹底十分されてないということ。

1か月で300件くらい、甲府市医師会にも救急の電話が来てしまう。

夜間に関しては医大にお願いして、深夜に関しては二次病院等にお願いして、自治体としては普及啓発を徹底するという事。

〈山梨県立中央病院院長〉

二次救急・三次救急を行っている、月に1回、委員会で二次救急の受け入れが出来なかった症例の検討を行っている。なかなか判断が難しいものがいくつかある。

また、医師の時間外労働の問題も深刻。基本的には病院としてはなるべく受入れるべきものは受け入れてくれという姿勢をみんな取っている。いかに効率よくやるかと言う事も大切。

また、年末年始、非常に病床が逼迫した。やはり病床が混んでしまうと、受け入れるべき症例が受け入れられない。下り搬送を積極的にしようということで、下り搬送について病院間で契約をした。しかし、実際お願いしたが相手方の病院も病床の逼迫によりなかなか受け入れが難しい状況であった。対応策として予定入院の患者さんの入院を延期し、二次救急には影響が出ないようにした。

病床逼迫について、病状的には在宅療養が可能な状態になっても在宅で対応できない、訪問看護が対応できないという話がある。中北保健所の方でも検討していただきたい。

〈峡北消防本部・藤森課長〉

初期救急医療センターについては、住民への普及啓発だが本部の広報誌を例年発行している。救急の件数も若干でも少なくできるよう、取り組みをさせてもらっている。

〈座長〉

年末年始は、県の救急医療情報センターはパンクしてしまう。電話がつかないということを聞いた。県の情報センターをもう少し整備していただきたい。体制を増やすなどしないと、また同じことが年末に起きるのではないか。

◎重点課題④「大規模災害時保健医療救護体制の整備・充実」

〈韮崎市立病院長〉

当院には DMAT 隊があり、この間は石川県に派遣した。なかなか十分な体制が整っていない中ではあるが活動した。

〈韮崎市〉

大規模災害は、健康づくり担当だけでできることではないので、福祉、総務防災担当の連携を密にするというところを推進している。今年度は台風の影響で真冬に防災訓練をした。

実際に死者が出たらどうするかというところを各関係部署がチェックし合った。

避難所設営を行った。受援体制についても検討した。やればやるほど大変だなと正直実感したが、少しずつ進めていく。

〈甲府市〉

市の総合防災訓練に併せて市三師会にもご協力をいただき、三師会と連携した保健医療救護対策本部や医療救護所の設置・運営訓練として、市立甲府病院の DMAT 隊にも協力をいただく中、受付やトリアージなどへの対応に、様々な角度からご指摘やアドバイスをいただき、様々な課題を確認出来た。

◎重点課題⑤「新興感染症発生・まん延期における医療提供体制の整備・充実」

〈市立甲府病院長〉

感染症認定看護師の養成をしている。病院自体では、初期対応の体制整備をおこなってく事が重要。

感染症自体に関しては、コロナのようなものは対応していかなければならないと思っている。医療機関としての立ち位置として、病床確保していきたい。

〈山梨県立中央病院・小嶋院長〉

感染症診療科があるので、そこが中心になって病院の中で対応している。

先日の新興感染症の訓練を、当院も感染症チームが中心になって実施し、厚労省の方も見学に来ていただいた。新興感染者に関する訓練も、施設等を巻き込んで、見学に来ていただき、実施している。

◎重点課題⑥「在宅医療の推進」

〈中巨摩医師会長〉

在宅看取りということで、あすか在宅クリニックの先生が中心となって、4月から始められるようにと考えている。4月は甲斐市で、5月は南アルプス市、中央市、昭和町で、当番表を作って走りだそうと考えている。土日祭日を中心として、体制の薄いところを支えられるようにと思っている。

〈北巨摩医師会長〉

在宅医療について行っているクリニックはあるが、双葉地区にはない。

韮崎市は多くて10数カ所、北杜市が一番多いところで60人ほどの患者さんを診ている。北巨摩医師会全体では250人くらいを訪問診療で診ている。在宅医療がどのくらいの数必要かが分からないが、訪問診療が少ないので、今後どうなっていくのかなという心配はある。比較的面積の狭いところで、密集しているところでは行きやすいが、北杜市のように離れた場所を往診するのは厳しい現状がある。いろいろ問題は山積みになっているが、関係機関と連携を図って効率的に、やれることをやっていくことを考えている。

多職種に向けて山梨県医師会の講演会を実施できるよう動いている。前向きに取り組んでいる。

●改訂版：第8次中北圏域アクションプラン（案）について

〈中北保健所地域保健課長〉

重点課題への取り組みについては保健所だけでは十分な推進は困難であるため、委員の先生方からいただいた取り組みについて、赤字で取り組み機関として追加をさせていただいている。

・重点課題①「糖尿病を中心とした生活習慣病の発症予防・重症化予防対策の強化」

あらゆる機会を通して情報発信をしていただいている。先ほど歯科医師会からも、健康フェスタでの口腔衛生生活習慣病の改善といった取り組みも、発言をいただいた。

追加させていただいて、一緒に取り組みを推進していただきたいと考えている。

学校行事の場を活用した保護者へのアプローチを加えさせていただいたのは、最初の取り組み、評価のところでも、ライフコースアプローチというところもあり、子供時代からの生活習慣病が続いていくというところで、親へのサポートということで、特化し記載させていただいている。

・重点課題②「精神疾患の予防及び相談支援体制の推進」

医療機関の方でホームページやYouTube、紙媒体の内容を工夫しながら啓発を行っていただいている。医師会でも高齢者の精神疾患のところが課題だということも話されていた、一緒に取り組みをしていただければと思っている。

認知症のところでは、愛育会では地域で見守っていただき、サポート活動をしていただいているので、認知症サポーターの養成講座を受けていただいているので一緒に取り組みを推進していただけるといいなと思っている。

・重点課題③「救急医療体制の整備・充実」

消防本部で二次救急の維持、救急病院と協議会を実施しながら相互の理解や救急搬送の状況を共有していただいているということも追加させていただいた。普及啓発についてはあらゆる機関でいろんな媒体を通じながら、情報発信していただいているので、追加をさせていただいた。

・重点課題④「大規模災害時保健医療救護体制の整備・充実」

訓練を引き続き実施していく事。災害時のマニュアルの作成や見直しも取り組んでいただいていることも分かった。個別避難計画、個別支援計画の立案、見直しというところもしっかり明記させていただいた。

・重点課題⑤「新興感染症発生・まん延時における医療提供体制等の整備・充実」

市町村新興型インフルエンザ等の行動計画の改定がある。BCPの作成と新興感染症の対応への訓練をしっかり明記をし、引き続き実施していきたいと考えている。

・重点課題⑥「在宅医療の推進」

急変時の対応、切れ目ない医療介護の提供体制の構築、在宅診療所のネットワークづくり、在宅医療を担う関係機関との連携強化やチームで対応する体制づくり、訪問看護の充実や主治医が不在のときのチームで対応するというところ。それを研修会や連携会議で重層的に取り組んでいく必要性があり、追加をさせていただいた。まだ落ちや不備があると思うが、委員の皆さんからご意見、ご協力をいただき、推進ができるようにしていきたい。

〈座長〉

各委員の皆様からご発言のあった行動計画につきまして、第8次中北圏域アクションプランに加え、ともに推進していくこととしてよろしいでしょうか。よろしければ拍手をお願いいたします。

* 拍 手

ご承認いただいたということで、ありがとうございました。

(3) その他

な し

議 事 終 了。